江戸

今八百韻

全

早稲田大学文学部図書
個人研究費
暉峻康隆
49-0209

の人々れこの品の時分にて
これい無者ども仕立て作法なりとて
ものしたりしを通りかかる人
婚礼を通りかの角屋敷と
成色を義理にて
あるものにかの角屋敷
屋敷なりの者ども
のこと仕受制禁ハ

物ものとなりて傳受制禁ハ
なりものにて仕立てなりとて
色と見れハ外なる色にて
勝負をなすこと相撲一会
なりなれハ
なりなれハ田舎の
弾指なんとなりし座宝のなりれ
正俗なりの人ハ四季共いろ色と

つゐに酒店なるゆゑ清風朗月
のこゝろ是にかけられしにや
まことにふかきこゝろざしなるべし
府令のこゝろざしあはれにて申
名を聚香もてはやされけるも党中なく
いろ／＼ふゑんを青菜のごとくし
あれ跡研精の門に出すへ侍るを
こゝろしらんことやすくけれは是や

ここに肺腑は一朝の照心にあらん
さるを悔恨しいかばかりの
誠子日ときてこゝやうし梓にあらはして
かるこの心をふかくあらはしたり
かくふかくやすんとはさてら 評苑
おほけなくまさらに

百菴
青璽

仏道に仏とも物と
聞なすべしいまいふ所
牛洗馬勅あるをも牧を
きらくしこしとふとうとく
縁さめて更に花物を拳
待るやまの小さき立枝の
むすびより長く伸 春
春くの来る所に生る

連入御清
地蔵の
蓼より
太元開達
りく地の
狸猫
かせ西風
の皮も
暫
用ふる

あるまじ
八百歌
敢
已百
牝牛いつらの
毛
向
ふ
ふ
毎
毛の
案

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

默して御青峨

東京帝國大學圖書之印

何籠

我[illegible]すむ海さ[illegible]大名　青峨

[illegible]を過ぎし松の下　百菴

鶯の魚さそしの[illegible]　超波

兵部が獅子の[illegible]　青鹽

[illegible]集の[illegible]雪の[illegible]　菴

[illegible]れ[illegible]毋の[illegible]　峨

葉末の露もしぐるる時雨哉　珊

捨れし志ゆゑ居る法師華　波

山ゝの奥ゆ逢ゝ国越　峨

荷ゝくれぬ頭文の丸　菴

部ゝら押絆小笠と言の内　波

部小奥の腊　さゞ波　珊

竹け芝のいほ一つ雨の中　菴

目のまゝ寺の十京　峨

寒さゝ小粥ゝ煮けるふる雪　珊

世の和ゝ松ゝ拾ふ　波

旅衣の袖ゝ濡れ　峨

七合の数に暮ゝ時ゆく　菴

若い者の十部音小鼓と打　波

余江の夫れ弓ゝ雪　珊

梅の月庭ニ坪板ゝ敲　菴

寒の月有ゝのゝ人ゝ　峨

高野寺の僧堂をとゝのへ多すかり　珊
志ゝ[illegible]ゝ知ゝ[illegible]ゝ垣根の時　波
提[illegible]ゝ溝ゝ[illegible]ゝ岩塔の跡を人　峨
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ菊や[illegible]ゝふや　菴
秋の風冥林ゝ[illegible]かい[illegible]ゝ　波
淀[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ山[illegible]ゝ月　珊
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]の[illegible]ゝ　菴
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　峨

汗水の[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　珊
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]の[illegible]　波
帰ゝ千[illegible]須[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　峨
裸ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　菴
[illegible]花摘男[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　波
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　珊
秋[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　菴
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　峨

[illegible]

[illegible]

山[illegible]

小[illegible]

湖[illegible]

[illegible]

不[illegible]

[illegible]

伊
波
峨
菴
波
伊
菴
峨

浦風[illegible]

[illegible]

俗人の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

伊
波
菴
、
波
伊
菴
峨

苔蒸して窟ふる御殿の姿なる　珊
大分綿谷の道法寛濶　波
吉のめうけ亭ンハ四方へ開くん　峨
酒肴を始乃家の法味　菴
むつくと紅名の口遊紀昆須倡摩　波
伊賀一日も忘いくれかな道　珊
白うるの松ちかくまんまの月　菴
ちくちん酒くすを生の後人　峨

唐土洋西洋ふいの人れ西広　珊
法律の分くく　波
淡くし牛二変八所くく
ひくく童乃流る川　峨
ひくく接を枯れ枯れ　菴
ひ枯の巴乃金具をくく紀　波
服用くく法とるくく吉の年　珊
茶屋し押つる新い重ね点　菴
むつくの松一四ヶ頃作本　峨

生剱の糸糸の中　珊
取掛宿ハ　長崎　波
新川水　　峨
一羽　　菴
音の秋の縁　　波
　　珊
毛綱　　菴
　　峨

問へ　　珊
吐血の命　　波
　　峨
白水　　菴
三国川　　波
お製　　珊
仏の日　　菴
　　峨

糸縅の鎧着たる武者の
風とうしむ中陣の幕　波
大勝小袖の鎧の袖　峨
まくれの中とうらの袖　菴
袖ひき腰うちかけうる月の影　波
ゆゝしき時の花ぞかし　珊
月の下小和泉河内を皆打ち移　菴
蓑うち着たる武者修行也　峨

むし暑く石の地蔵ふるげかう　珊
縋ちりめんも玉川の影　〃
侍みな和さうきいかゝ砕ふり　峨
さゝゝ箱うしの丹波所　波
蒲公英ふむ宮ゝ　〃
照り八幡の東風　菴

何口

超波

百菴

青峨

青瓏

菴

波

瑚

峨

波

菴

峨

瑚

菴

波

ひさかたの雲ゐの風のまに　珊
うき舟の中につまれる玉藻　峨
はるかに軍ふかけるかりの　波
黄色ゆかしき秋の雨れ　菴
きりぎりす浦風早き月の雲　峨
十日ばかりの刺鞋ハ未　珊
花奪ふ二月の米と一まれる　菴
はるとをもしろしとあはかり秋　波

夜嵐ふ野ゐ鹿ふ麻疾ふ　珊
はぎふ蛍ふ蚊ふ　峨
男色いろ柄沢菖蒲　波
吸つけ香具屋の塚　菴
ふ蛍ふ水ふ夕涼　峨
茅の沢ふ月ふ上加茂　珊
禅坊ふ十ふ丈いふ　菴
天門ふハ沙鞋なりけり　波

糊空く白乃羅紗あと　珊
二尺許乃こと　峨
行濃ゆるを乃如　波
水し風物乃下乃月与　菴
稲妻乃川乃ほとる雷乃色　峨
櫨くれる　眠前乃空　珊
塗箸の一すくり　菴
稲小雪降る何者の筆乃　波

柿色乃櫨師乃毎ハさ乃如　珊
石川峰と沼乃夕照　峨
くしかける蜘乃巣と二朝乃　波
乃ゆふ幸く者乃不　菴
さ帰乃笹垣と紅葉　峨
如く彩の如ハと日乃石女　珊
間乃物音くる色とおのゝ　菴
佛鉢栄ハ清き蜻さ　波

朝の月蛙の声を清かなる　珊

清くして杉葉を漏れて高へ　峨

雲の山雨をしまして菜畑　波

笠倩の暦　墨　菴

切籠すまを見ぬ日の北海　峨

高く鶏鳴めるれ　珊

鳴きて意つる日照る　菴

曾我中村を指れる　波

砂川の橋の脚を水鳥の見て　珊

芦の日の蟹れ　峨

塚鞠小雲の資中　波

小くして再へ　菴

吉原の橋切　峨

積う雲の今朝の春　珊

世中の愚癡いれて紬の月　菴

無くして無くして　波

平常山酒乃なりを遺恨哉　珊
ぶらぶらんからもつるの変　峨
舟宿の出名乃上へ蕎とりけ　波
鶯園北枝も行くうく行く　菴
暮ゆく二口寺を拾ふと　峨
浩塚乃老者眉毛長れ　珊
線香ハ封切ぬ切き早き　菴
浩〳〵蓋ふ鞍の出立　波

雲雀場とのうけ山乃西日哉　珊
泊りし浩〳〵ふ相模殿堂ナ　峨
京師走人乃郎毛小遣れ行　波
焼餅乃如く細い火ハ好　菴
〳〵粉菓子乃月ハ淋し　峨
黄梁家〳〵屋〳〵ふ　珊
破や遊ぶまぬ千大和　菴
初乃初〳〵穴蕨〳〵　波

上下の[illegible]の内　珊
老の[illegible]　峨
日日[illegible]　波
踏む[illegible]石の角ト　菴
巻物と側の新[illegible]　峨
[illegible]太[illegible]　珊
寺町や[illegible]と人[illegible]　菴
大[illegible]　波

[illegible]の[illegible]　珊
消[illegible]　峨
影暗[illegible]月毛の弱や廉毛の弱　波
口[illegible]門[illegible]門の[illegible]　菴
[illegible]　峨
[illegible]　珊
遠[illegible]　菴
[illegible]の[illegible]　波

百年ハ歌乃眼の所はすり　珊

歳の新しき居る定紋　峨

一ふしの小さ乃柳子ハいとゝ波　波

寿永乃ふるの者ゆゑん　菴

花雪　繻の小ぶ形ハ芳丈縄　峨

潤乃ふ川ぶかしハ光る葉ゑ　珊

三字中畧

ゆゑ源氏御乃節ゆゑ　青瓏

ひとゝせハ小角の新　青峨

ふるく丈乃ふる興ハ川ゑて　百菴

一歩小別ゝ向乃ゑ蔭く　超波

ゝ現く顔ハゝの言　峨

い川乃塩ゝの様れし松　珊

部望を[illegible]ふの月の間の月　波
ふるまひ酒をしこの友の膝　菴
秋は名の宗達筆と書れけり　珊
掃[illegible]ものを[illegible]懸の黒棚　峨
[illegible]ぬ[illegible]指[illegible]手　菴
冷命を人[illegible]既ニ為ス明ナト　波
[illegible]杯盤狼藉[illegible]　峨
[illegible]宮方の[illegible]ん　珊

大道へ直に[illegible]の[illegible]れ手　波
未[illegible]の[illegible]竹　菴
[illegible]ふ[illegible]の横　珊
[illegible]利潤の汁の熟る朝[illegible]　峨
[illegible]ふ神[illegible]遠[illegible]　菴
[illegible]ハ[illegible]ふ神　波
[illegible]の[illegible]　峨
[illegible]の月　珊

庫裏の[illegible]れさへ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　波

電の[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]り　菴

借[illegible]る主[illegible]の衣[illegible]ぬ　珊

古[illegible]狸の　戯書　峨

[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]し　菴

[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]の角　波

[illegible]の下[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ　峨

[illegible]の伯[illegible]の[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]し　珊

[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　左服　波

[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]菌取　菴

[illegible]の胡[illegible]の[illegible]の[illegible]の　珊

[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]森　峨

[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]の[illegible]　菴

[illegible]の[illegible]の[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ　波

[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　峨

二人[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ　珊

めしあるかの吉備大臣の沙汰をもて　波
ものしたりしかの長持の者　菴
持信赤穂を宮く使ひしに　珊
赤穂を千年の以前の字　峨
瘤を苦ますまつ五十　菴
呈まつりしに　波
往来の呉服を抑留　峨
冥途の月をもてなされる都　珊

その神の看板の墨の月　波
湯し肌あらはれ　菴
赤穂の丸曜のまつり上ひ　珊
さあしいつく印無し　峨
張り貴る箱の北の山　菴
荷ひこあるの赤の財　波
俗ふん茶箱一字　峨
罪てこいつ　珊

小野嵐天狗川原八幡宮

[illegible]

[illegible]の盟ひぶつ　波菴珊

関八州の代官の秋　峨

清る一日時雨降り星火丸　菴

[illegible]　波

宮君の枕[illegible]　峨

[illegible]の占[illegible]　珊

[illegible]所の月日[illegible]　波

[illegible]と小影を[illegible]　菴

茹地[illegible]生[illegible]　珊

寝[illegible]　峨

[illegible]の[illegible]旭ハ[illegible]川延[illegible]　菴

殿中[illegible]　大紋　波

朝鮮の[illegible]　峨

接機[illegible]様ノ塔[illegible]　珊

四めぐりかすみこめる花の雲　波
杉の黄腸八ツ九一重　菴
すがつるゝ今八世ふるかなる　珊
久敬中　法河の恩多行月　峨
ゆくゝ春ふかみ水の流れ　菴
竹しらぬ花火ちらぬく　波
ひのぎの障子の内ふかきゆふ　峨
山ぶきの花の咲ける　珊

さゝなみの柳ゆるる青景色　波
蛙鳴すゝ岩橋　菴
ゆく日の春一つゝふかむるゝ　珊
雲かすみ清水の流れ　峨
昼木八源の稽あるゝ　菴
ゝ春の花ゝ盛の姿　波
かしら北中八ゝ　峨
ゝゝゝ小春十九ゝん　珊

光さしそふ堂の行燈かけ　波
ふるさとの時の幕とかな　菴
ちるとても塑のさしかぶかぬ汁　珊
四方の雨しらみける塀の小原　峨
朝月のおもてをこそ綿　菴
ふいかりんも萩のうら風　波
とのうかぬ雨戸みるとの秋　峨
庵家なるる中後の時ゆ　珊

丈長八町の柳　波
福井しるる　菴
月の沖揺ふ黄ゆ時の沼の　珊
堤の柳ふるとあるより　峨
制札のふるさく蕗の雪　菴
御高門とも二月　波

何盥

紫陽花や水汲みこむる井口　百菴

ひらひらしぶき伝ふの下陰　青峨

伊達原や石に腰掛ふる　青瓏

都還りの和人びと　超波

新恋の端唄うたい千代の子　峨

海老うり笛恋の月の色　菴

ひとり萩ふる山ゆ流れ来る　波

世の中の早稲の穂のとがり和　珊

こゝろふる待ける秋の月　菴

いにしへ戒忘寺　峨

笠ぬぎの時の時の時の時　珊

野宮のいにしへ玲の言　峨

重ねさゝる土あ　菴

[illegible]

[illegible]

[illegible]

踊がつりうしの流しうし　峨

姫琴の紙れあいふ兵の類　狸

紅葉の繻絆の切りうけの稲　波

むの結束絆清水具やきん　峨

大黄といふあらまの[illegible]　菴

右之[illegible]しかゆ[illegible]廉の角　波

標谷の[illegible]くれなかゝ[illegible]　狸

白瀧老の[illegible]情と弱うん　菴

鶏焼くかり墨雪の家　峨

とゝ[illegible]れ[illegible]　狸

[illegible]　波

[illegible]の[illegible]　峨

[illegible]　菴

色々の紅葉所々中の英人草　波
見つゝ行くに猶遠く廣沢　理
高の中もたゝるやうに十三夜　菴
杉子ゝ芋洗ふ迫つゝめる　峨
時長干潟坂のつゝかすに風　理
ゆるゝ谷川の水　波
ゆるゝ紅の色なる中の家　峨
木々の葉ふるる海連縄　菴

風と見し志の無日はたゝ　波
ゝ新鮫の見ぬ朝所　理
三月の浮沖のつれぬ　菴
木戸ゝ通る車　峨
桃灯ゝ山ふみ海り　理
鶏頭月の笠ゝ　波
夕ゝ月雪の下油井ゝ　峨
ゝ家の表仮　菴

座中に稲荷法印の会　波

例のごとく　玉章法印

花見帯小路の[illegible]　菴

[illegible]の[illegible]　峨

大坂の[illegible]　十四日　珊

高[illegible]　蒼海　波

古郷の[illegible]　峨

[illegible]　珊

[illegible]　菴

[illegible]鳥尾小蔵法印の会　波

[illegible]　珊

一[illegible]　[illegible]日の光　菴

[illegible]　[illegible]戸張の宮　峨

指の痛[illegible]　珊

[illegible]　波

[illegible]　峨

[illegible]　菴

昔かんとゝ小雨降る比三日の月　波
おもゝんかるゝ乃はぎに咲ちる　珊
釈殿の西廊寺乃秋　菴
拂ふ四位ゝ英皂の北　峨
四春乃ゝ乃ふゝ黄丁一　珊
五月のゝけゝ人ゝ待ゝ　波
投げ入れゝ水に蔓のも　峨
責れるゝ見ぬ登の月乃釜　菴

芦ゝ赤ゝ色けゝゝゝる乃緑日　波
物和ゝゝ乃ゝ女中ゝゝゝゝ　珊
兵の部乃不ゝ部明ゝて一寮入　菴
業ゝゝも屋上乃月　峨
もゝ師の古ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ　珊
きのゝゝ回し時の乃ゝ数　波
ゝゝゝ登ゝの乃地八乃ゝ　峨
部ゝゝ乃ゝゝゝゝ民中　菴

新霜すなる人所集くれぬるの夜　波
古郷のそる冬の梨の枝　珊
夜夫の洲崎ふ地所場くり　菴
あらかしの奥所の奥所の稲　峨
孫法の帽子の汁のさ[illegible]　珊
いけしやなる北情まる　波
清湯の奥所奇所おとしし　峨
稲穂ものく嵐のこんかく　菴

なけしし月取の澤まり　波
蘭二言の篭のうかさ　珊
帰野の者の巣中秋の蝶　菴
けしし枝しかり宗眠　峨
出毎の羊羹の布月上く　珊
四月のまこかしの空　波
風呂桶の藍こがり　峨
縞けし所の廣の黄昏　菴

[illegible] 波
[illegible] 珊
[illegible] 菴
[illegible] 波
[illegible] 珊
[illegible] 峨

車何

[illegible] 月の前　超波
[illegible] 寂寞の水　青瓏
[illegible] 青峨
[illegible] 百菴
[illegible] 珊
[illegible] 波

川上を回る嵐に吹ちつく　菴
さゝなりもあるすゝ大つゝみ面　峨
都なる紅葉の海ハ日本の名れ　波
酒りめの紅葉ちけ人とも　理
付船をまぐまを見とゝ也　峨
稲葉ふ清く白紙の神　菴
初紅と川霧さゝる朝の月　理
剥月十荷ふ野ちけ夢　波

風ふかのゝ高ゝ市ふかりより　菴
洲崎の月ゝ北宮ゝ風ふ　峨
嵯峨紅葉ふ美本ゝ見ゝ　波
芝居ゝ二樽ゝ川ゝ　理
仇敵の二日續いゝ美ゝ和　峨
美の都ゝ言い赤貝　菴
宮地ゝ廷の下のさゝ風　理
ゝゝ中ゝ丸ハゝ紅葉あり　波

米春を回し石清水流れ　養峨
京時雨の河豊の水　峨
四方の山を見さらぬ雲の岸　波
坂に出る月の光　珊
三人ばかりとまふ彩の鮮ハ　峨
ふかの寺の鐘負ふ海の　養
杉板ふ大工の羽織神ぶり　珊
三月の道ふ鶯の　波

陰陽師細見橋小路　養
知るべうう瘧病薬物　峨
ふるさと数山ひかず山　波
仏膳の先ぶ山春の蕨　珊
ぶんうう中猪の横山海の月　峨
珍味ふし茶白の秋　養
三月四日巻の赤絵上　珊
雨は三月十日ぬ　波

いはまくらは大内山の
かえりの蒲かまくらは
ふりしの桑明の時のまくら
慶長元年　鄰口の鉛
桑のまくらは枯れのまくら
積とおもふ長谷の多
引茶碗のまくら酒の命の
まくらは月の波

養
峨
波
珊
峨
養
珊
波

まくらは此もまくらの箱
月やはるまくらは裾
今の名小遠のまくら
春の淋しきは海苔の畳のまくら
しぶ屋の卵の海鼠のまくら
九者のまくらは長谷の
雪のまくらの水沫の電のまくら
一つの夢の名のまくら

養
峨
波
養
珊
峨
珊
波

波潟の鹽滿る時見れば
赤い袴
蓍峨
大佛の向地おすかれる
波
榛の木 奥に所所の月
珊
蔭の木末に姫たんん
峨
例一年に見て来る元船
蓍
うれしの蔵来干しかれる
珊
紫 ゆめ袴の多いくさ
波

血の池に針の山とうたれる
蓍
湯屋の四方けしきかな
峨
紅の帷子の命
波
長柄の橋の命
珊
橋の木陰の林清
峨
出り神に霞こめ
蓍
はまぐりの中に孫達
珊
解いて見れば蛤
波

[illegible]山の[illegible]寺[illegible]月の[illegible]　菴

櫻[illegible]平[illegible]の仮　峨

四の園に亭[illegible]設けし堅いす　波

[illegible]の[illegible]　珊

[illegible]ふ[illegible]井[illegible]　峨

[illegible]一向宗[illegible]　菴

[illegible]押の[illegible]寺[illegible]の級

十[illegible]四[illegible]修[illegible]叡　珊

[illegible]の[illegible]　波

人形の[illegible]綱の集[illegible]井　菴

[illegible]　峨

[illegible]　波

[illegible]　珊

園の名[illegible]　峨

[illegible]　菴

掃除する毎日[illegible]の佛達　珊

今度の[illegible]　波

世紀八湯ひ[illegible]出[illegible]待[illegible]　菴

立一[illegible]と[illegible]暮月[illegible]　峨

塔の却枫八鼻と[illegible]色　波

牛[illegible]と[illegible]長葉月籬　理

夕霧の月[illegible]ゆ[illegible]場所　峨

[illegible]と弱[illegible]栗の小[illegible]　菴

蔓物[illegible]　波

日八[illegible]の里　波

[illegible]八色男月脇[illegible]

いも[illegible]る絡[illegible]の鶯　峨

事[illegible]ゆ沖[illegible]　波

菓[illegible]物[illegible]一[illegible]月丈け　菴

[illegible]の山[illegible]花の都[illegible]　理

水若[illegible]　波

何里

親とゝ[illegible]有る事を小松原　青峨

[illegible]の[illegible]結ひ[illegible]る月　青瓏

[illegible]の[illegible]文苑英華[illegible]　超波

醉[illegible]酔へ[illegible]一[illegible]勞　百菴

[illegible]今[illegible]錦へ[illegible]　理

[illegible]不採さい[illegible]　峨

生け山葵ちいさく[illegible]葉と[illegible]ある　菴

朝日の[illegible]の[illegible]と歸　波

切通し穴[illegible]八潜[illegible]　峨

[illegible]師聖の貴[illegible]是ん　理

舅入迎のるとき[illegible]する　理

[illegible]空[illegible]生[illegible]　波

多い[illegible]空[illegible]と解日ふ　菴

[illegible]玉用干の[illegible]　理

[illegible]ない　峨

山伏ふくとさふ井後篇　菴
四〜〜〜三のみ音羽の宿　波
情の小判もしきりに寄る夜　峨
〜まい葱出れ〜枯の色　珊
物ゆれ〜賜ハ岩ふ瓜とし　波
眼一ふ武士の供ゆ連し　菴
ゆ所もわれ色花の那山　珊
寒孔初見日本旦の〜　峨

冬〜〜の枝ゆ〜ゆ見る雲孔灰汁　菴
海藻藻の摩〜〜〜〜〜　波
角の〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜　峨
国の吏へ法令の寄　珊
塚倒れ橋の実ふ〜風孔月　波
月〜晴渡る鏡の出蕨　菴
病人の枕〜ふて〜〜〜川　珊
尾と〜〜〜〜〜猫の毒意　峨

上ミ京の小稚子
財布にいれ
人魂の飛
あしたを情り
裸もしあらはかこまり
きい茶を楽ふり
醴の烟ハ神
新こそれ明り

菴
波
峨
理
波
菴
理
峨

ふ兵を平法のとけ
柳ゆかりの
のこんゆ
土とそれぬ南天の枝
衣木や竹田の
月小かふ神
月白野宮
行年とり

菴
波
峨
理
波
菴
理
峨

けけ御も楽下ふかく後ろから　菴
帆印りよけれ明月きぬ　波
毛唐人人の花ハ見まし　峨
わきしろかるし杏の粥　尹
十日程と霜淋まれく別き君　波
擂もの通じ中川の亭　菴
風つよくはしいそくぬ菰のこく　尹
根食の小田は桜邁むまて　峨

まさふなしい乏娘の絆かし稲き　菴
くう綾路の口ほのく天晴　波
寿と縫ひしむハ帆の丸露の菱　峨
平相国の水身としく川　尹
律儀さふこむしせこう武躍つめ　波
宝きしゐ仏の清しき風雲　菴
生郷の雲ふかう踊者れ門　尹
小便とつく庵する年し　峨

有馬の温泉にて

何時はかあと阿弥陀の秋　波

菊小路とあり人の涼　菴

羊羹とする老安の町　理

如渡のうしの屋敷　波

寺見西の笠屋敷杖　峨

名代なし如望の酒屋の姫　理

ものしるしの先見の数の者　菴

清水寺にて

千仏堂と陽子の行　波

川原楊子の新しき雨上り　菴

仏法うつれば平九月解　理

吹ちらす嵐なれば花の結　波

学ぶ文　寺に　薗撰桶　峨

参詣の有れば栗屋月夜の夜　理

紫野遠うあとに寺所の月　菴

鶴冥月まとり長く向ひ合　峨
所〻ものゝ市月出之　波
小野原なる稲荷の額ふ玉ふ　菴
伏見月章、歌ゝ和鄙ひさり　珊
如月山の仏ゝ毎部ゝ生れつき　波
尾羽とゝいく矢鱈縅の穂　峨
三寸ふ火とゝしいふ戸松糸ゝき　珊
荷縄所捌〻明六の月　菴

鮫ゝ〻ふ安行磨糸田村川　峨
蜀江錦ゝ学けしいくく　波
小晶月理形ゝ被所ゝ白ふ　菴
詰仙家仏月ふ沢紙　珊
池形ゝ風所ふる揮枕　波
志愛の形る人ゝ言ゝ　峨
夢ゝ世ゝる仏毎洗ハ世ふ有使ゝ　珊
愛の言唐ゝ水月ゝ　菴

[illegible]形の松の[illegible]糸[illegible]峨
[illegible]額中の[illegible]波
[illegible]擂[illegible]
[illegible]栗石 珊
[illegible]の太[illegible]菴
[illegible]春の陶

兜何

舟岡の朝日の[illegible]
[illegible]清水 [illegible]尾 超波
積もる千[illegible]の百卷
[illegible]松 [illegible]松の 青峨
[illegible]て[illegible]出 波
[illegible]蔵の[illegible] 珊

青瓏

峨　菴　珊　波　峨　菴　珊　波　峨　菴　珊

峨　菴　珊　波　峨　菴　珊　波　峨　菴　珊

覩毎ちうたに取　峨
ちまきを中に入お　菴
永しの終康のたまあふ称て　珊
いなきちの住の免特崩ち　波
ちを移しとなす　堅ひりあちる　菴
岩田　今各の　早番とちう　峨
欠けけ　目見えの隙ふ蓋られ　波
月　蓮　上人　流れの奥　珊

仁ちしあちら岸の特の人　峨
茶釜の方仕　柳　出水部　菴
宮雲あ　彩の隅いさふち　珊
叶多　知ると　極楽人易　波
ちの居のいちのぬける月の中　菴
月小　おるちた　秋の海清　峨
名あ　けふ　ちいまる　清の秋　波
張居の枝の　今　あ　月　珊

[illegible]の雨[illegible]物[illegible]へ　峨
[illegible]書[illegible]自ひこはる　菴
[illegible]親[illegible]　珊
親とかし　芝者[illegible]　波
[illegible]水[illegible]　菴
雪中[illegible]　峨
[illegible]　波
[illegible]道[illegible]　珊

[illegible]の音淋し　峨
古い廏斗月[illegible]　菴
[illegible]誰の見　珊
[illegible]　波
甲子[illegible]人の歌　菴
服へ[illegible]第[illegible]　峨
[illegible]月い和へ[illegible]　波
[illegible]のさ京　珊

峨
菴
珊
波
菴
峨
波
珊

峨
菴
珊
波
菴
峨
波
珊

峨
菴
珊
波
峨
菴
珊
波
峨
菴
珊
波
峨
菴
珊

出ぬ　峨
[illegible]ぬ白子松坂　菴
[illegible]の[illegible]　珊
別[illegible]　[illegible]は徒十人　波
[illegible]物師の名[illegible]　[illegible]月　菴
[illegible]　峨
村の秋[illegible]　[illegible]の[illegible]　波
[illegible]　珊

[illegible]軍の中の[illegible]　峨
[illegible]れ船[illegible]　菴
[illegible]　珊
松の扉を出[illegible]　波
[illegible]の緒[illegible]　菴
[illegible]の[illegible]中　峨

何女

雪の夢白れて空し雪晨　百菴

塵の大根かすかなる　超波

小春庵の新しき物をふ下り和　青壘

ちぢ〳〵風の星の輝　青峨

春色果ぬ梅のあるかの音　波

生平よすれる　掛り人の臘　菴

十寶の御手洗ハ安丸宮　峨

眉ちぢけかゝ亀のさまもし　珊

紡績の場ちぢ清紀ち作居　菴

洗間の煙のちぢ　波

備貢ち頭陀ち貸の子ち　珊

今ハ切の丸墓の顔ち　峨

君ち代や言祝ち　小場　波

金の屏風の出口入口　菴

峨

珊

菴

波

珊

峨

波

菴

峨

珊

菴

波

珊

峨

波

菴

原橋を渡谷を上る白雲峨
咸神院に立て月の下 珊
雨を乃聞くこゝ千鳥 菴
初学の窓へ堂の波
霖小雨る月の出の山の珊
岩こゝ清き松の峨
招幻換く星と勝を長く波
長い食白乃苔師堂つゞ菴

物光る雲の三ゝ雲 峨
ふ小ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ 珊
百家乃呆の陽ハ腹ハ降ゝ菴
星羽ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ 波
川竹乃ゝ乃ゝ乃ゝ 珊
唄ゝ乃ゝ画ハ変ハ乃ゝ 峨
石ゝ乃ゝ若い者ゝ乃ゝ 波
ゝ乃ゝ海の紫ハ市 菴

雪の降かゝりたる山里の月　峨

威陽宮の うゝきの面　珊

花さそふ風の音　菴

息の声よ 順の岸入　波

とのゝ音 うゝ雄鹿の鳴　珊

茶釜 うゝ唐 川船の雨　峨

中書堂 うゝ格子 とゝ　波

うんか 唐の 毒 うゝ　菴

解 うゝ 梅の 枝 高上 うゝ 鶯 峨

大見 撫の 雪の 跡 珊

芝浦 れ 撫 うゝ 山 菴

さゝ れ 利 うゝ いる 蛍 波

比 唐 撫 うゝ 秋 珊

明 れ うゝ 出 神の 面 峨

撫 小 れ 鶯 ゝ 干ぬ 星の 上 波

無為 恬 怛 ゝ 高 星の 月 菴

吹のふく葉の花の雫

峨

しらける新米の色

珊

源川の水の面に毎月生る

菴

かくもむすぶ清水

波

夕涼みの宿うたせ

珊

天王寺の二王堂

峨

いくたびか高砂の大根の利

波

春年も

菴

元日の天の川に高き花菖蒲

峨

花の林に僧徳の宿

珊

生垣の垣根の中のすゝき

菴

金魚鉢の水替て見ん

波

跡とゝ河内利の菓子と云すゝき

珊

磨へ〻ぬ鏡の影のすゝき

峨

かゝるもけし赤者の門の月花

波

萩の花ちる水の鼻ぢ

菴

詔四位木の角の材を深法寺　峨
客殿の戸つくりの所　珊
を[illegible]後の[illegible]ふかくの[illegible]　菴
方と見の[illegible]の[illegible]と　波
年の[illegible]れ[illegible]を桂[illegible]　珊
三井の[illegible]　峨
[illegible]合[illegible]板[illegible]正[illegible]敬　波
海[illegible]の通[illegible]の[illegible]　菴

左の[illegible]の蘭[illegible]中の[illegible]の花　峨
垣の[illegible]桐油[illegible]　珊
[illegible]二[illegible]ふ[illegible]生[illegible]者　菴
[illegible]葉[illegible]　波
[illegible]十六[illegible]の日記名月記　珊
[illegible]て[illegible]麻　峨
茨皂の實の[illegible]果[illegible]　波
小[illegible]の[illegible]　菴

何人の筆乃はつかしきもの　珊

敷つゝ山の峯乃霞哉　峨

さくらいろの色の雲へとうけ　養

鶯乃　額のいけるゝ　珊

軸なるの　掛　高砂花乃神　峨

陰さし清けき　梅　櫻　松　波

高砂に八百の春を
ゆきかへるのとの秋を経て
ゆくも南ふるくめを忘れ
正ふかふまのふるつけふ
いとゝまほ八百を経年地
美又此屋の
とふのゝ仕

享保十九年寅四月
東都藤月堂
若菜屋小兵衛板